

# 培養時間を短縮し、生産性アップ

## パーフュージョンモードによる1ステップ培養

アップストリームの工程を最適化するために、高密度セルバンクから拡大培養することなく2,000 Lの本培養を行う方法があります。

高密度セルバンク (50~100×10<sup>6</sup>cells/mL) から10 Lサイズでパーフュージョン培養を行うことで、通常のバッチモードでの培養の場合、本培養を含めて4週間ほどかかっていたものが(図1)、約半分の2週間弱で生

存細胞として50×10<sup>6</sup>cells/mLを確保できます(図2)。その後、2,000 L培養を行う場合、0.3×10<sup>6</sup>cells/mLの細胞密度で、1,700 Lの容量で培養を開始することが可能です。

※ 参照：アプリケーションノート29160932

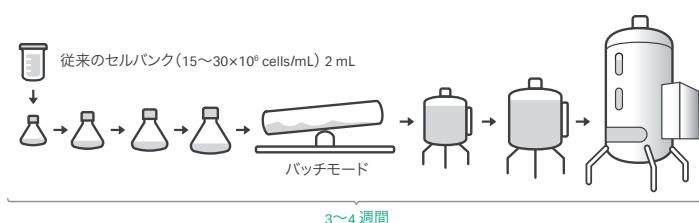


図1. バッチモードにおける拡大培養

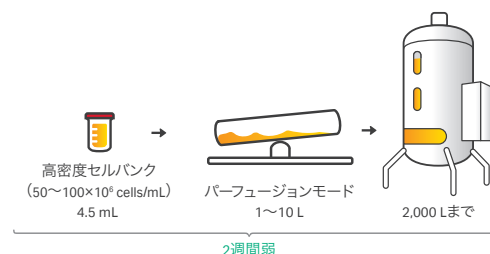


図2. パーフュージョンモードにおける1ステップ培養

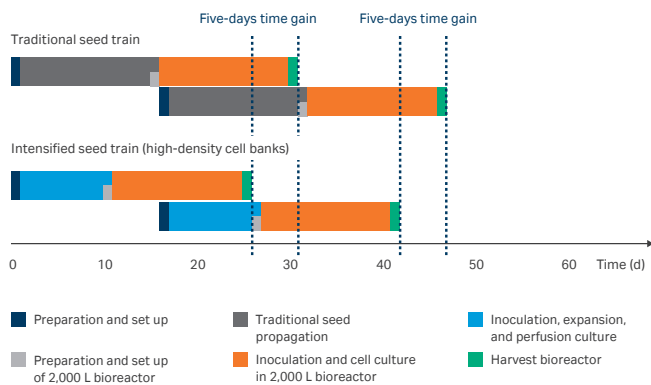


図3. 1品目を2バッチ製造するスケジュール例

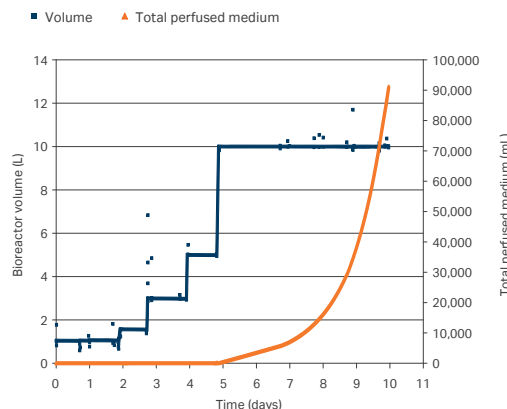



図4. 培養期間における培養槽ボリュームとパーフュージョン培地量

掲載されている内容および価格は2020年11月現在のものです。価格は希望小売価格(消費税は含まれておりません)であり、単なる参考価格のため、弊社販売代理店が自主的に設定する販売価格を何ら拘束するものではありません。掲載されている製品は試験研究用以外には使用しないでください。掲載されている内容は予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。掲載されている社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。お問合せに際してお客さまよりいただいた情報は、お客さまへの回答、弊社サービスの向上、弊社からのご連絡のために利用させていただく場合があります。

 Continuous perfusion bioreactorのシステムおよび方法に関する特許を取得しています。

## Cytiva(サイティバ)

グローバルライフサイエンステクノロジー株式会社  
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-25-1 サンケンビルディング

お問合せ：バイオダイレクトライン

TEL：03-5331-9336 FAX：03-5331-9370

e-mail：Tech-JP@cytiva.com



Intertek  
ISO 9001:2015  
認証取得

www.cytivalifesciences.co.jp

71-3914-03<16>

